

令和4年度 FFAC ステップアップ助成プログラム 募集要項

【①文化芸術普及活動助成】

1 趣旨・目的

福岡市において文化芸術活動を行う、今後の発展が期待される活動歴5年以下の団体・個人（以下、活動者）を対象に、活動者が主体となっておこなう文化芸術活動で、市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供する活動に対して、活動の普及・定着を図るために、主に広報にかかる経費の一部を助成します。

2 対象となるジャンル

演劇、ダンス、音楽、美術、メディア芸術（メディアアート、アニメーション等）、伝統芸能、その他

3 助成の対象となる活動の実施期間

令和4年8月1日(月)から令和5年2月28日(火)まで

※助成対象活動が完了したときは、実績報告書(収支決算書添付)を活動完了の日から起算して30日を経過した日、又は活動完了の日の属する年度の3月10日のいずれか早い期日までに提出する必要があります。

4 助成の対象となる活動

福岡市内で申請者自らが主催する、市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供するために実施する公演、展示等の活動

- (活動例) ・親子で楽しめる音楽公演
・テーマをもとに制作するアート作品の展示会
・伝統芸能の鑑賞・体験 等

※新型コロナウイルス感染防止対策を実施している活動が必須要件となります。

5 助成の対象とならない活動

- (1) 当助成金以外に福岡市または福岡市文化芸術振興財団から補助金または助成金の交付を受けているもの、或いはそれらに準じる金銭の交付を受けているもの(例：文化・エンターテインメント施設開放事業、文化・エンターテインメント開催支援事業等)
- (2) 宗教的、政治的、或いはチャリティーを目的とした活動と認められるもの
- (3) 営利を主な目的とする活動及び特定企業の広報・宣伝と認められるもの
- (4) 通常の定期公演・展示とみなされる事業と認められるもの
- (5) 学校教育の一環として行われる学校行事と認められるもの
- (6) 学術研究・学術的出版と認められるもの
- (7) 一般に公開あるいは公募されない活動と認められるもの
- (8) 教室(カルチャースクールを含む)、サークル、単独の流派等が行う稽古事や習い事等の発表会、講習会、展示会などの活動
- (9) 国、地方公共団体(福岡市を含む)が主催・共催する活動(名義のみの共催は除く)

- (10) 当助成（「文化芸術普及活動助成」）において過去に助成を受けた団体・個人の活動
 ※「文化芸術普及活動助成事業」については、助成回数は1回のみです。その後は「発展活動助成」への申請を検討してください。
 ※令和3年度までのステップアップ助成プログラムの助成実績は含めません。
- (11) 第三者の著作権その他第三者の権利などを侵害するもの。

6 助成の対象となる団体・個人

文化芸術分野の発展・普及に資することを主たる目的として、主に福岡市内で活動し、今後の発展が期待される団体・個人で、次の(1)～(7)の要件を全て満たすものとします（(6)は団体の場合のみ）。

- (1) 申請時点での活動歴が5年以下であること（団体の場合は設立してから5年以下であること）。
 - (2) 過去5年間に、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していること。
 ※活動実績は、提出された実績資料（過去公演チラシ、パンフレット等）で確認します。
 - (3) 責任を持って当該活動を遂行する能力と意欲を有していること。
 - (4) 主に福岡市内で活動していること。
 - (5) 宗教活動、政治活動を目的としていないこと。
 - (6) 団体の場合は法人格の有無は問わないが、次の(a)～(e)の要件をすべて満たし、団体としての組織及び責任の所在が明確であること。ただし、地方公共団体が基本金その他これに準じるものを出資している法人は除く。
 - (a) 定款、寄付行為に類する規約等を有すること。
 - (b) 団体の意思を決定し執行する組織が確立していること。
 - (c) 自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。
 - (d) 3名以上の役員を有すること。
 - (e) 団体活動の本拠として事務所を有すること。
- ※(b)～(e)については、(a)に掲げる規約等に明記されていることが必要です。
- (7) 福岡市暴力団排除条例第6条の規定により、暴力団または暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有しないこと（採択決定にあたり、警察へ照会を行います）。

7 助成金の交付額

対象1件につき、**上限10万円**

※助成対象経費（P.44参照）のうち「宣伝費」と「舞台費」の合計額に応じて、収入の額に関わらず定額で助成を行います。ただし、1万円円未満は切り捨て。

※助成対象経費（P.44参照）を必ず確認してください。特に広報物の「印刷費」は助成対象経費に含まれませんのでご注意ください。

※採択事業については、交付額の2分の1を上限として一部前払いが可能です。

8 審査方法

書類審査	書類（申請書）による審査 ※審査結果は、7月頃に申請者全員に郵送にて通知します。
------	---

9 審査項目

審査は以下の項目に照らしておこないます。必ずご確認ください。

■活動内容について		
①	発信性	文化芸術の魅力を発信し、市民の文化芸術への関心を高め、裾野を広げるもの
②	地域への貢献	(ア)未来の担い手である子どもたちの育成(イ)共生社会の実現に向けた社会参加の機会づくり(ウ)地域の歴史・文化の継承のいずれかに貢献していると認められるもの(エ)福岡市の魅力向上に資するもの
■個人・団体について		
③	技能性	作品や出演者などの一定以上の技術水準が認められるもの
④	継続性	文化芸術活動を行う団体・個人としての継続的な活動が期待できるもの

10 助成活動に対する市の協力

助成活動に採択されると、福岡市及び福岡市文化芸術振興財団による「経費負担の後援事業」としての位置づけとなり、次の支援を受けることができます。

(1) 福岡市の施設の使用料の減免申請ができます。(市民会館ホールを除く)

- ・開催日の当日(※1)
- ・開催にかかる出演者、スタッフ等の控室として、同会場内の施設(視聴覚室、会議室、実習室等)を利用する場合は、その当日(※1、2)
- ・1事業に対して、リハーサル1回(1日のみ)及び、仕込みに要する日(1日のみ)
- ・助成事業の一環としてワークショップ等を開催する場合は、その当日(※1、3)

※1 練習は対象外とします。

※2 開催会場に付設されている控室(ホール控室等)だけでは、事業の開催・運営に支障が出ると認められる場合に限ります。

※3 ワorkshop等のリハーサル及び仕込みは対象外とします。

※利用施設の受付担当者には、必ず財団に現在助成金申請中であることと、採択・不採択の結果が後日判ることをお伝えください。

※減免申請書を提出の際、福岡市文化芸術振興財団又は福岡市文化振興課長の確認の記名押印が必要な場合がありますが、どちらの場合でも、必ず福岡市文化芸術振興財団へ記名押印が必要な書類をご持参ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後国や自治体の要請に伴い各施設等の取扱いが改訂されることが想定されます。そのため採択後も事務局と密に連絡をとり、必要に応じて事業内容、時期、会場等の計画を適切に修正し、必要な手続きを経て事業を進めてください。

(2) ポスター、チラシを福岡市の施設に置くことができます。

(3) 当財団のホームページ・メールマガジン等により活動の実施案内を配信できます。

(4) 助成対象活動のイベント(広報活動)に福岡アジア美術館アートカフェをご活用いただけます。詳しくはご相談ください。

1 1 助成を受けている旨の表示について

助成金交付内定を受けた団体・個人は、当該活動の実施に際して作成するポスター、チラシ、プログラム等の印刷物に『助成：(公財)福岡市文化芸術振興財団「FFAC ステップアップ助成プログラム (テキストまたはロゴ)』、後援：福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団』と必ず記載してください。

1 2 活動の実施確認について

活動の実施確認のため、事務局（財団職員）・市関係者等が視察を行います。

1 3 実施報告書の提出について

助成金交付決定を受けた団体・個人には、活動実施後に報告書を作成し、提出していただき、活動の実施成果・課題などについてご報告いただきます。

1 4 申請にあたっての提出物（各1部）

- ・FFAC ステップアップ助成プログラム 交付申請書（様式第1号）
- ・添付様式一式
（活動内容(1)(2)、団体概要・個人略歴、団体名簿(団体のみ)、収支予算積算内訳、チェックシート）
- ・団体規約（団体の場合）
- ・実績資料（過去公演チラシ、パンフレット等、3枚以内）

1 5 申請書提出についての留意事項

- (1) 申請書の提出は、助成金の交付を受けようとする活動の主催者が行ってください。
- (2) 申請書の記入にあたっては、本募集要項を必ずお読みください。
提出する申請書等は、助成の採択にあたっての審査資料となります。不実の記載や提出後に活動内容や予算額に大きな変更が生じることがないように、十分に検討の上、具体的かつ簡潔に作成してください。
なお、助成金の交付決定後に、団体の組織、対象活動の内容・会場・収支予算等に重要な変更が生じていると認められる場合は、交付されないことがあります。変更が生じる可能性が出てきた場合は、必ず事前に事務局までご相談ください。
- (3) 収支予算積算内訳の作成にあたっては、別表「助成金の対象となる経費」及び申請書の記載例を参考に記入してください。
- (4) 企業からの協賛金等や民間助成団体からの助成金、補助金等の助成を受ける活動についても交付の対象となりますが、必ず収支予算積算内訳の所定の欄に記載してください。
ただし、特定の企業名等を活動名に付する「名称冠公演」は交付の対象なりません。
- (5) 収支予算書の収入総額と支出合計額は同一になるようにしてください。
- (6) 同一の団体・個人及び同一とみなされる団体（団体構成員が重複）が、複数の活動を申請することはできません（ステップアップ助成プログラム内の異なる助成であっても、複数に申請することはできません）。
- (7) 附属資料等が外国語で記載されている場合、必ず和訳を付けてください。

16 受付期間

令和4年6月15日(水)～令和4年7月14日(木)

※郵送での申請の場合は、7月14日(木)必着

※メールでの申請の場合は、7月14日(木)17時までに送信

17 申請方法

電子メールまたは郵送にて提出ください。持参での受け付けはいたしません。

①電子メールによる提出(令和4年6月15日(水)受付開始)

提出先: stepup@ffac.or.jp

※7月14日(木)17時までに送信を完了してください。

※メールのタイトルは「①FFAC ステップアップ助成プログラム申請」と記載ください。

※迷惑メール対策などで「アドレス指定受信」、「ドメイン指定受信」、「メールフィルター」など、インターネットメールの拒否設定を行っている場合と受信できないことがあります。財団(@ffac.or.jp)からのメールが受信できるよう、設定の変更をお願いします。

※申請メールを受信したときは、翌営業日までに申請を受領した旨をメールにてご連絡します。確認メールが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。

②郵送による提出(令和4年6月15日(水)受付開始)

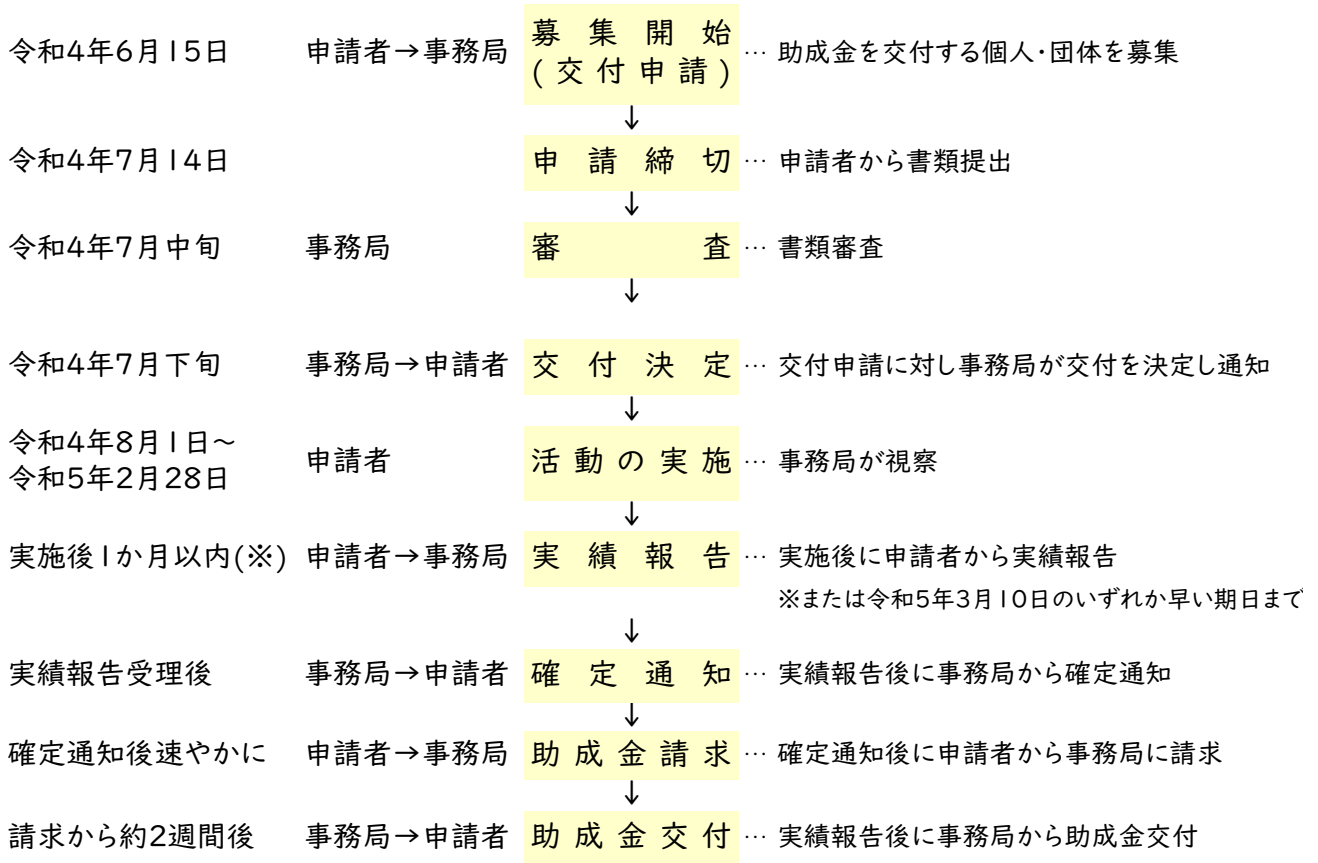
郵送先: 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階
(公財)福岡市文化芸術振興財団

※7月14日(木)必着です。

※配達記録等、郵送の記録が残る形で送付ください。受領の連絡はいたしません。

※送付された申請書、資料は返却いたしません。

■手続きの流れ(①文化芸術普及活動助成)



※その他手続き(該当の場合のみ)

変更申請	内容に変更がある場合には申請者から提出 ※実施1か月前まで
一部前払金申請	一部前払金を希望する場合には申請者から提出 交付決定額の1/2(50%)上限で一部前払い
中止・廃止申請	活動を中止又は廃止する場合には申請者から提出

(様式第1号)

令和4年度 FFACステップアップ助成プログラム 交付申請書

年 月 日

公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団理事長

住所： 〒***-***
〇〇市〇〇区〇〇

団体名(団体のみ)： 〇〇〇〇〇〇〇〇

代表者職・氏名： 代表 〇〇〇〇

(芸名、雅号など： 〇〇 〇〇)

下記のとおり申請いたします。

記

助成の種類	文化芸術普及活動助成
-------	------------

担当者 連絡先	関係書類送付先住所 〒***-*** 〇〇市〇〇区〇〇・・・	
	電話番号(勤務先・自宅・携帯) ***-***-***	Emailアドレス ***@***. **. **
	時間外連絡先 ***-***-***	ふりがな ***** 氏名 〇〇 〇〇
	FAX番号(あれば) ***-***-***	

代表者 連絡先	電話番号 ***-***-***	Emailアドレス ***@***. **. **
------------	---------------------	------------------------------

交付を受けようとする助成金の額

収支予算	(収入)		(支出)	
	区分	予算額(円)	区分	予算額(円)
	収入合計(イ)	285,000	支出合計	386,200
	自己負担金	101,200	内助成対象経費 合計	150,000

交付申請額	10	万円
-------	----	----

※助成金は次の金額内に収まっているか、ご確認願います。□

- ① 助成額の上限額 = 100,000 円
 ② 助成対象経費合計 = 150,000 円
 ⇒ ①②のうち、低い額 = 10 万円 (端数切り捨て、1万円単位)
 ただし、上限10万円。

※色のついたセルは自動計算の結果が表示されるので、計算式を変更しないでください。

活動内容(1)

助成の種類	文化芸術普及活動助成
申請者の種別	団体
ジャンル	演劇
(ふりがな)	△△△△△ △△△△△△△△
活動名	○○○○○ ○○○○○○○○ ☆具体的な公演名等（ポスター等に表示する名称）を記入してください。

活動の目的及び内容	(趣旨・目的)	
	☆当該活動を行う目的、意義等を簡潔に記入してください。	
	(実施時期・回数・日数)	(実施場所・文化施設名)
	***年**月**日～**日 *回	○○会館 大ホール（福岡市○○区○○）
	(内容) 活動内容について具体的にご記入ください。 ※活動に参加する出演者・スタッフについては、フルネームでご記入ください。 ※この表に収まるように記載してください。	
(公演：概要、演目、曲目、幕構成等) (展示：作品の種類、点数、主な作品名、出品者等)		

活動内容(2)

審査項目に対する活動のポイント	<p>※募集要項の審査項目に沿ってご記入ください 【審査項目：発信性、地域への貢献、技能性、継続性】</p>
本活動によって申込者が目指すステップアップの内容（成果目標）	<p>当該活動を計画するに至った経緯や背景（従来の活動の課題等を踏まえ、具体的に記載してください）</p> <hr/> <p>当該活動のステップアップの内容と成果目標（従来の活動から見て、どのような新しい取組を行い、どのような目標の達成を目指すのか具体的に記載してください）</p> <hr/> <p>当該活動終了後のビジョン（当該活動の成果を将来的にどう活かしていくか、具体的に記載してください）</p>
共催者・後援者・協賛者等の名称と役割	<p>共催／〇〇〇〇 後援／〇〇県（申込中） 協賛／〇〇〇株式会社（協賛金提供）、〇〇〇新聞社（広報協力）</p>
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について	<p><input type="checkbox"/>福岡県が協力を要請する「催物（イベント等）の開催制限等」を確認し、感染防止対策を講じた上で開催します。 https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-cooperation-event.html</p>

団体概要・個人略歴

ふりがな	○○○○○○○○	代表者 又は個人	職名	代表
団体名	○○○○○○○○		ふりがな	△△△△△△△△△
団体住所 (所在地)	〒 ***-**** ○○市○○区○○・・・		氏名	○○○○○ (芸名・雅号など:)
			生年月日	大正・昭和・平成 **年(和歴) **年 **月
		性別		
		電話番号	***-***-****	
		ホームページアドレス	http://www.***.***.jp	
団体設立年月(個人の場合は、活動開始年月)		西暦 **年 **月 ※申請時点で活動歴が5年以下であること		
法人設立年月(法人の場合のみ記入)		西暦 **年 **月(主務官庁名:) ※申請時点で設立してから5年以下であること		
沿革	**年**月 ○○愛好会 **名で結成 **年**月 第1回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○○賞を受賞 **年**月 「○○○」と改称 **年**月 第2回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○と合同で○○○○を行う ※設立の目的や経緯、設立から現在までの組織の変遷、これまでに行った主な活動等を記入して下さい。			
計画	[2022年度の主な自主事業計画] ○○○○公演 ☆2022年度に計画している自主事業について記入して下さい。			
主催した公演・展示等の実績	●●年●●月 第1回公演「○○○○」公演 第2回公演「○○○○」公演 ●●年●●月 第3回公演「○○○○」公演 とシンポジウム開催 ●●年●●月 第4回公演「○○○○」公演 ※過去5年間に、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術活動に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していることが必要です。あわせて、実績資料(過去公演チラシ、パンフレット等)を提出して下さい。			
過去助成金実績	■FFACステップアップ助成プログラム 採択年度 [●●年度 / ●●年度 / ●●年度] ■その他助成金 [助成金名称・採択年度: ○○○○基金助成 / ●●年度] [助成金名称・採択年度: ○○県○○文化活動支援助成 / ●●年度]			

団体名簿

年 月 日 現在

団体名	○○○○○○○○
-----	----------

	役職	氏名(ご本名)	フリガナ	性別	生年月日		
					年(※和歴)	月	日
1	代表	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
2	副代表	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
3	事務局長	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
4	会計	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
5	会計	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
6	監事	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
7	事務担当	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
8	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
9	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
10	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
11	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
12	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
13	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
14	団員	○○ ○○	△△△△△	女	****	**	**
15	団員	○○ ○○	△△△△△	男	****	**	**
16				男・女			
17				男・女			
18				男・女			
19				男・女			
20				男・女			

※この用紙は任意様式です。同上項目が記載された既存の名簿がある場合はそちらに替えてご提出されても差支えありません。

[注意事項]

- 団体規約の規定による会計、監査の担当者を必ず明記してください。会計と監査は、適正な監査のため、同一人物が兼任しないようにしてください。
- 福岡市暴力団排除条例第6条の規定により、暴力団または暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有する団体・個人でないことが助成の対象条件です。採択決定にあたり、警察へ照会を行います。

収支予算積算内訳

■助成対象経費

項 目	予 算 額 (円)	内 訳			
		項 目	単 価 (円)	数 量	金 額 (円)
宣伝費	50000	広報物デザイン料	50000	1	50000
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
舞台費	100000	会場借上料	50000	1	50000
		会場付帯設備費	50000	1	50000
					0
					0
			0		
			0		
			0		
			0		
合 計 (A) ※税込	150000				

収支予算積算内訳

■収支予算書 ※申請する活動に係るすべての収支を記載すること

(収入)

項 目	予 算 額 (円)	内 訳			
		項 目	単 価 (円)	数 量	金 額 (円)
入場料収入	145000	入場料 (前売り)	1000	100	100000
		入場料 (当日)	1500	30	45000
共催者負担金	100000	〇〇負担金	100000	1	100000
補助金・助成金 (※1)	0				0
寄付金・協賛金	0				0
ワークショップ等の参加費	0				0
広告料・その他収入	40000	広告料 (2社)	20000	2	40000
	0				0
合 計 ※税込	285000				0

(※1) 申請中の補助金・助成金がある場合、その申請先と申請額を記入してください。

(支出)

項 目	予 算 額 (円)	内 訳			
		項 目	単 価 (円)	数 量	金 額 (円)
宣伝費	50000	広報物デザイン料	50000	1	50000
					0
舞台費	100000	会場借上料	50000	1	50000
		会場付帯設備費	50000	1	50000
出演料	180000	出演料	30000	3	90000
		演奏料	30000	3	90000
謝金	30000	会場整理謝金	10000	3	30000
					0
旅費	25000	出演者交通費	5000	5	25000
					0
印刷費	1200	チラシ印刷費	2	500	1000
		ポスター印刷費	2	100	200
	0				0
	0				0
合 計 ※税込	386200				0

FFACステップアップ助成プログラム チェックシート

団体名または個人名	
活動名	

※ 交付申請書及び記入例を参照の上、作成した提出書類に不備等がないことを□欄にチェックを入れ、最終確認してください。

● 提出書類について

(団体の場合) 団体の定款、寄付行為又はこれらに類する規約・会員名簿等を添付しましたか。

出演者のプロフィールや活動実績が判る資料(過去公演チラシ等)を添付しましたか。

提出書類の団体名(個人名)、代表者名、は全て統一されていますか。

● FFACステップアップ助成プログラム交付申請書(様式第1号)、及び活動内容・団体概要・個人略歴

申請者欄に記載している団体名(個人名)が、活動の主催者ですか。

申請者の種別・ジャンルについて○印をつけましたか。(それぞれ、いずれか一つを選択)

活動の実施時期・回数・日数、会場・施設名は具体的に記入しましたか。

活動の目的及び内容、活動のポイントについて、募集案内の記入例を参照のうえ、記入しましたか。

ステップアップの内容(成果目標)、新型コロナウイルス感染拡大防止策等、該当するすべてを記入しましたか。

担当者の連絡先を記入しましたか。

● 収支予算積算内訳

会場の設定席数、入場見込を記入しましたか。
(入場料・参加料が無料の場合、無料の理由を記入しましたか。)

当該活動で他の助成金に申請あるいは内定している場合、該当する欄にその内容を記入しましたか。

自己負担金の内訳にその調達方法を記入しましたか。

再計算し、数字は間違っていないか確認しましたか。

直接経費の区分は適正ですか。(別表参照)

直接経費に記載できない項目が入っていませんか。(別表参照)

経費の内訳は具体的な名称になっていますか。(「雑費」「予備費」などの費目は認められません。)

収入総額と支出合計は同一金額になっていますか。

交付を受けようとする助成金の額は規定の範囲内の金額になっていますか。

控えとして、提出物の写しは取りましたか。必ず保管してください。